

団体名	東京都教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題

現在、東京都では小・中学校、中等教育学校、高等学校（以下「小・中学校等」という。）において、ベテラン教員の大量退職により経験が少ない若手教員が増え、特別支援学級等においては、当該学級等で指導を行ったことのない教員の割合が増えており、特別支援教育の専門性向上が急務となっている。

そこで、全ての都立特別支援学校と区立特別支援学校が、各区市町村に対するセンター的機能を担っており、主に近隣の小・中学校等の依頼に応じて助言や講演等を行うといった方式で支援してきた。

特に、小学部、中学部を設置している都立知的障害特別支援学校25校と区立知的障害特別支援学校1校は、26のエリアに分けられた都内を分担して小・中学校等を支援している（なお、島しょ地区は、都教育委員会が支援を行うこととしている。）。

しかし、従来から行ってきた依頼に応じて訪問し、助言等を行う方式では、支援が単発的になるため、各小・中学校等の実情に沿った支援が難しく、効果的な特別支援教育の専門性向上に結びつけにくい。

このため、現在、都教育委員会では、センター的機能の効果的な発揮に向け、区市町村教育委員会と連携し、計画的、継続的に区市町村教育委員会から指定を受けた小・中学校等を支援する方式を推進している。

都教育委員会は、本事業の実施に際し、町田市に対しては専門性の向上を図る必要のある小・中学校等の指定と、専門性向上の具体的な目標の設定、また、目標達成後の他の小・中学校等への普及計画等の策定について依頼をしている。

今後、町田市の計画等に基づき、都立町田の丘学園のセンター的機能の発揮による支援内容について、さらに明確化を図っていく必要がある。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

町田市が指定した拠点となる学校の特別支援学級に、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと外部専門家が同行し、教育指導と専門家の知見の活用といった共同作業により、特別支援学級の課題が明確になり、効果的な指導実践へつなげる方向性ができてきた。

3. 解決策（次年度の取組等）

(1) 町田市教育委員会との連携

町田市教育委員会の方針を基に、地域の特別支援教育の拠点となる学校づくり・学級づくりを支援する。

外部専門家を特別支援教育コーディネーターに同行派遣し、指導方法の改善のための知見を得るとともに、特別支援教育コーディネーターの専門性向上及び育成を図る。

(2) 特別支援学校の教員の専門性の強化

外部専門家による授業観察・助言を得て教員の専門性の向上を図るとともに、地域のニーズに応える学校づくりを行う。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	指定校
東京都町田市	1 東京都立町田の丘学園